



特定非営利活動法人コモンビート  
年次報告書 2024



# 設立から21年目!

## 2024年の活動報告

# A COMMON BEAT

Japan Project

# 100人100日 ミュージカル®の 循環が戻ってきた!

2022年はコロナ禍での「公演」の再開、2023年は57期東京・58期関西での「プログラム」の再開。その流れを受け、2024年は、共催での新潟1期、59期東京・60期名古屋・61期九州・62期東京の合計5本のプログラムを実施!キャストが定員に達し、公演も満席になり、ブラックスピリッツやウェルキャストでの運営体制も取り戻し、全国で「100人100日ミュージカル®プログラム」のパワーが復活しました!

### DATA

年間(新潟1期・59期東京・60期名古屋・61期九州・62期東京)

キャスト数 **502人**

観客動員数 **18,700人**

青少年招待数 **2,376名**

「Musical For All」の今期の取り組みの詳細は、別冊の「アニュアルレポート」からご確認ください。



1月20日(土)・21日(日) 新潟1期公演 新潟テルサ



2月10日(土)・11日(日) 第59期東京公演 北とぴあ さくらホール



7月6日(土)・7日(日) 第60期名古屋公演 岡谷鋼機名古屋公会堂



9月21日(土)・22日(日) 第61期九州公演 キャナルシティ劇場



12月20日(金)・21日(土) 第62期東京公演 北とぴあ さくらホール

### POINT

- ・ほぼ全ての地域でキャスト100名超え!
- ・全地域・全公演で満席!
- ・全地域で大規模な青少年招待を実施!
- ・プログラムの中核を担う「全国コアスタッフミーティング」実施!
- ・新潟の地域団体N:birthとの公演共催
- ・ミュージカルプロダクション体制の強化!
- ・ボーダレスハウスと連携して「ボーダレスビート」を62期で実施!

## ミュージカル公演にさらなる価値を!様々な同時開催企画を実施!

3,000人以上のお客様に100人以上のウェルカムキャストなど、たくさんの方が集ってつくりあげられるCOMMON BEATの公演。そこに「ミュージカルを観る」だけではない体験を生み出すべく、様々な企画を行いました!

### 60期名古屋公演 コモビカフェ



日時場所  
7月6日(土)  
7日(日)  
岡谷鋼機  
名古屋公会堂  
4階ホール

ミュージカル「A COMMON BEAT」の作品中で表現されるような、様々な人々が自由に開く空間を現実でも作り上げたい!と、様々な企画と食事を楽しめるカフェが実現しました!

### 60期名古屋公演・61期九州公演 子ども向けワークショップ 「舞台のワンシーンに飛び込もう!~世界のダンス教室~」



日時場所  
●60期名古屋公演  
7月6日(土)1回/7月7日(日)2回  
岡谷鋼機名古屋公会堂4階ホール  
●61期九州公演 9月22日(日)2回  
キャナルシティ劇場 サンブラザステージ

ミュージカル「A COMMON BEAT」を観賞する子ども向けに、表現ワークショップを開催。表現を実際に「やってみる」機会として、本作品に出てくる世界のダンス、歌や手話など、多様な表現を体験できる企画となりました。

累計参加者数 2地域合計で約400名の親子が参加

子ども  
赤、青、黄、みどりの色でいろいろなダンスをおどって楽しかった。

保護者の方より  
ワークショップに参加したので、ミュージカル観劇中も「今日やった曲だ」とずっとワクワクしていました。

子どもが参加したワークショップで踊った曲が流れた時の子どもの目の輝きが印象的でした。スクリーンをふって一生懸命応援していました。キャストのみさんのパワーに感動いたしました。本当にありがとうございました。

### 62期東京公演 鑑賞から運営まで!ミュージカル公演まるごと体験キッズツアー



日時場所  
12月21日(土) 北とぴあ さくらホール・会議室 参加者数 10名

本番公演を支えるウェルカムキャストの活動体験や、技術スタッフのお仕事現場の見学などを通して、ミュージカルの鑑賞から裏側までまるごと楽しめる、小学生向けプログラムとして初めて開催しました。

子ども  
キャストやスタッフのみさんたちとお友達になって、お仕事も上手にできたし、ありがとうございました。とっても楽しかったです。

保護者の方より  
我々の話題としてもよく出てくるCOMMON BEATを通じて社会見学・体験ができたことは他のものと比較して子どもたちの記憶にととて深く刻まれたんじゃないかと思えます。

### 62期東京公演 ウェルビーイングな組織づくりを目指すリーダー・マネージャー向け 人が自発的に動き出すマネジメントの秘訣を体感! 国内最大級の市民ミュージカル バックステージツアー

ミュージカルプログラム全体の背景や、プログラムを通して育まれた人々がイキイキと自発的に組織に関わり続けるCOMMON BEAT独自のマネジメントの秘訣を、公演現場で直接体感できる新企画!

日時場所  
12月21日(土) 北とぴあ さくらホール・会議室 参加者数 10名

参加者の方より

解説によってCOMMON BEATのマネジメントを知ったからこそ、より体感を持って、COMMON BEATのコミュニティの生み出す熱量・幸福感を感じることができました。

## ミュージカルを起点にその他の企画も!

### 関西よさこい企画



COMMON BEATによさこいが帰ってきました!約2ヶ月の練習を通して、自分らしい表現を楽しみ、仲間と一丸となってひとつの演舞を作りあげ、よさこい祭本番でそれぞれが花となり、嵐のように元気に演舞を披露しました!

出場イベント  
●踊ってまつり 5月4日(土)  
●Worldあぼろん 5月6日(月)  
参加者数 42名

### 学校訪問



キャストやOBOG経由でも依頼が増えています!異文化理解と表現を組み合わせ「世界のダンス教室」、多様な大人と人生に触れるキャリア教育「人生劇場」を、実施しました!

訪問数  
小学校 7校  
中学校 1校  
高校 2校

### じぶんアドベンチャー



「からだを使ったワークの場」と「他者との対話の場」を交互に持ち、「考える」と「感じる」の両方に向き合いながら、まだ知らない「じぶん」に出会うプログラムを、NPO法人れんげ舎と共催しました。

日時  
5月~6月(全8回)  
参加者数 11名

### 企業向けイベント



ミュージカルプログラムを運営する中で培ってきた、組織づくりのエッセンス、コミュニケーション、心理的安全性の高いチームビルディング等をテーマに、東京・名古屋で、企業のオンラインセミナーへの登壇や、対面での共催イベントを開催しました。

## COMMON BEATの知見やノウハウを社会へ!

「Japan Association for Music Education Program」からの依頼を受け、8月30日(金)・31日(土)に行われたアルゼンチン国立青少年交響楽団来日公演の運営協力を実施!ウェルカムキャストでの公演運営を活かし、当日集まった様々な団体のボランティアスタッフの方と、音楽で人がつながる空間づくりを行いました!

また、ウェルカムキャストを事例にしたボランティアマネジメントについての発表が、NPO学会にて受賞しました!

詳細は、次のページへ!



# コモンビートの魅力再発見！！2024 データで見るコモンビートの社会へのインパクト

## 2024年のサマリー

キーワード：#ウェルビーイング(主観的幸福感) #多様性適応力 #自発的リーダーシップ  
 研究室3年目は、100人100日ミュージカル®プログラムを通じて生まれた価値を社会に伝え、より広いつながりを持つことを目指した1年となりました。6月には「人が自発的に動き出すリーダーシップ」をテーマに、OB/OGによる会場運営スタッフ「ウェルカムキャスト」を対象にした調査結果を発表し、「日本NPO学会第26回研究大会」で「優秀発表賞」を受賞しました。この成果は、コモンビートのボランティア活動や組織文化の成功要因を明らかにし、組織のリーダー層を中心に関心を集めました。12月には、研究室主催「バックステージツアー」を実施し、人がイキイキと活動できる組織風土・文化について、ミュージカル公演の運営現場の見学を通じて深掘りしました。これらの活動を通じて、研究室は社会とのつながりを深め、新たな視点を得ることができました。

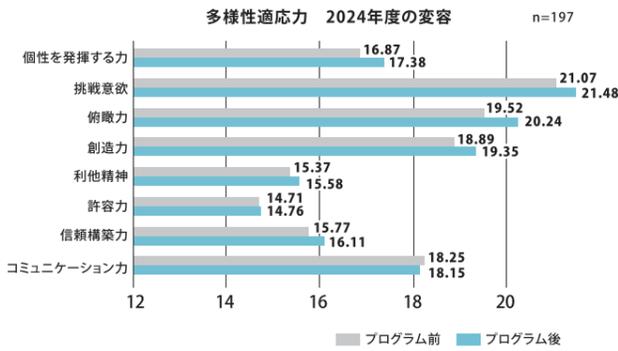
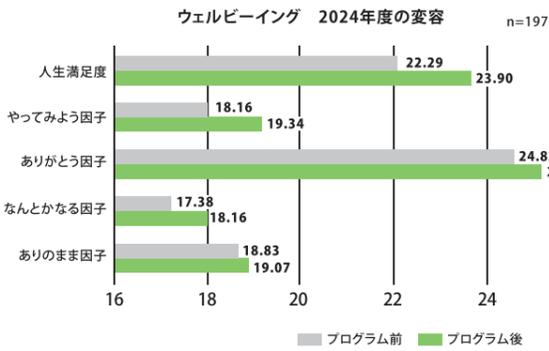
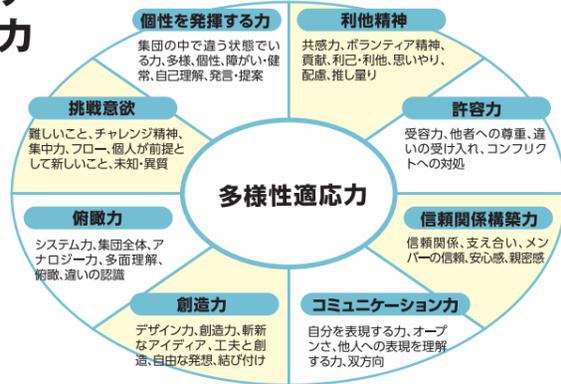


バックステージツアーの様子

## 継続調査

### 2024年度プログラム前後の主観的幸福度と多様性適応力

#### ウェルビーイング



昨年度から継続して、「ウェルビーイング(主観的幸福感)」※1と「多様性適応力」※2の2つを軸に、プログラム前後での参加者の変容を調査しました。今年度は、4本のミュージカルプログラムを対象としております。昨年度同様、ウェルビーイングと多様性適応力のほとんどの項目がプログラム終了後に向上することが確認されました！

今年度行ったプログラム一覧：  
 ①59期東京100人100日ミュージカル®プログラム  
 ②60期名古屋100人100日ミュージカル®プログラム  
 ③61期九州100人100日ミュージカル®プログラム  
 ④62期東京100人100日ミュージカル®プログラム

※1 参考)前野 (2013)「幸せのメカニズム 実践・幸福学入門」  
 ※2 参考)津々木ほか(2021)「多様性適応力評価尺度の開発と適用の試み」

## VOICE 参加者の声

### 20代 男性 会社員

深く関わりあう仲間だからこそ、チームが上手くいくことを優先させてしまうこともあった。それでも意見を交わしながら、前に進んでいく過程で違いを認められるようになったので得がたい経験だった。

### 20代 女性 会社員

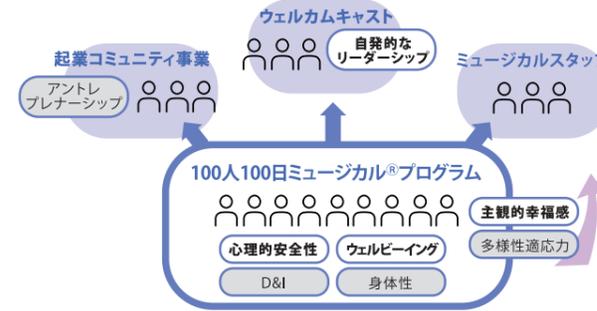
自分を好きになるのにはまだ少し時間がかりそうだが、たくさんの多様な人と触れることで、自己理解が深まった。

## 一言メモ

参加者の声からは、量的データだけでは見えない葛藤が浮かび上がりました。参加者が乗り越えられなかった課題に対し、コモンビートとしての継続的サポートが今後の課題です。今後は、プログラムの質向上のため、得たデータをミュージカルプログラムや他の事業に活用していく予定です！

## 新規企画・調査

### 人が自発的に動き出すマネジメントの秘訣とは？ 研究室主催 バックステージツアー



※太字は、バックステージツアーで取り扱った調査・研究項目。  
 ※灰色は現在、構想中・調査中の項目。

コモンビートが21周年を迎え、長年にわたり活動を続けてこられた背景には、100人100日ミュージカル®プログラムを通じて培われた、心理的安全性やウェルビーイングに現れる「人がイキイキ」と活動する組織風土・文化があります。この文化が基盤となり、自発的なリーダーシップが育まれ、社会で活躍できる人材が排出されてきました。しかし、「コモンビートだからできる」と限定的に捉えられている現状では、私たちの目指す「多様な価値観を認め合う社会」の実現には至りません。そこで、ミュージカル公演を通じて、その秘訣を体感し共有する研究室主催「バックステージツアー」を62期東京公演の同時企画として開催しました。

今回は、このツアーで紹介をした、「自発的リーダーシップに関する考察」について紹介します！



### 自発的リーダーシップに関する考察

コモンビートのミュージカル公演は、会場運営スタッフである「ウェルカムキャスト」をはじめ、毎回100名以上のOBOGによるボランティアで運営されています。ボランティアの集め方や動機づけはどの団体でも課題ですが、コモンビートは20年間で60回以上の公演を成功させました。この成功を他分野に応用するための研究を進め、2024年6月に開催された「日本NPO学会第26回研究大会」で「優秀発表賞」を受賞しました。今後は、より多くのサンプルを集めて、結果の妥当性を出していくとともに、他分野への応用にも挑戦していく予定です！

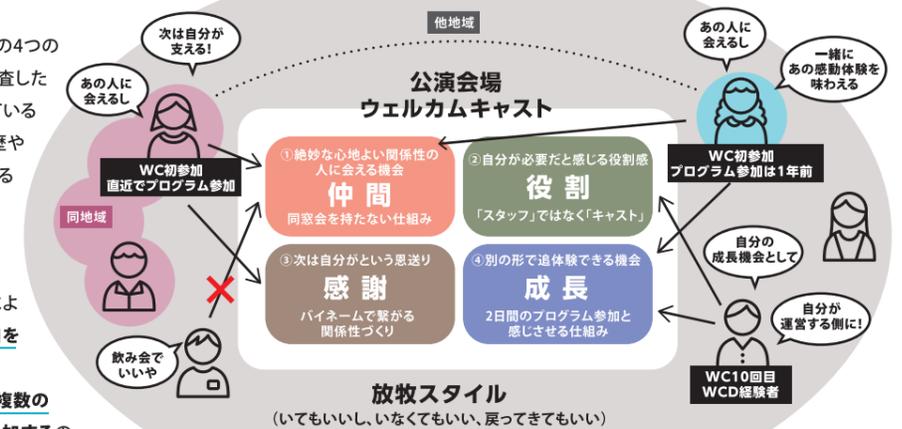


## 調査結果

ウェルカムキャストが金銭的報酬以外の4つの報酬※3をどのように感じているかを調査した結果、4つの報酬が満遍なく満たされていることが明らかになりました。また、参加歴や役割によってそれらの比重に変化があることも明らかになりました。

## 考察・仮説

●緩い管理スタイル(放牧スタイル)により、参加者が自ら意味を見出して参加を決める風土が作られている。  
 ●参加への意味付けが単一ではなく、複数の意味付けが可能な場合に自発的に参加するのではない。具体的には、1つの場で「仲間」「役割」「成長」「感謝」の4つの報酬に参加者が自由に意味付けできるような仕掛けが施されているため、人が自発的に集まるのではない。



※3 共有報酬(仲間と会える)、成長報酬(自己成長を感じる)、役割報酬(自分の役割を感じる)、感謝報酬(ありがとうを感じる) 参考:中島(2023)「共感起業大全」

## まとめ・今後の抱負

研究室は2022年に開設され、3年目を迎えました。初期は組織内にデータドリブンな文化がなかった中で、学会やアワードで受賞するなど、設立時に掲げた「なんか良いからの脱却」という目標に少し近づいたと感じています。キャストの皆さんやご協力いただいている皆さんに心より感謝申し上げます。2025年度は、コモンビートの価値を可視化し、団体の未来のために貢献することを目指します。今後はデータ活用やプログラムの質向上、新規事業提案など、R&D領域に踏み込んでいながら、より多くの人と「多様な価値観を認め合える社会の実現」を目指していきます。ご期待ください！

# 令和6年法人第21期決算報告 (対令和6年予算)

2024年度の決算において、経常収入は95,165,823円となり、予算額(90,436,750)を4,729,073円上回りました。

要因としては、ミュージカルのキャスト参加費、チケット販売、助成金、寄付金の増収が挙げられます。一方で、会費収入と協賛金収入は減収となっており、来年度に向けて見直しを行います。

経常費用は89,340,672円であり、予算額(87,929,738円)よりも1,410,934円の増加となりました。内訳は、事業費が67,838,995円で予算比277,437円、管理費が21,501,677円で予算比1,133,497円の増加となります。

要因としては、旅費交通費やスタッフ不採用による業務委託費の削減があったものの、租税公課の消費税額の予算見込みが不十分だったことに加え、収益増により課税対象額が拡大したことが影響しています。

当期経常増減額は5,825,151円となり、予算額(2,507,012円)と比較して3,318,139円の増加となりました。

以上の結果、2024年度は収入増により、予算を上回る利益となりました。

令和6年度 貸借対照表 (単位:円)

科目		金額
資産の部	現金預金	¥20,102,707
	立替金	¥0
	前払費用	¥7,313,307
	未収金	¥3,240,905
	仮払金	¥80,670
	商品	¥52,211
	流動資産合計	¥30,789,800
固定資産	建設仮勘定	¥1,650,000
固定資産合計		¥1,650,000
資産の部合計		¥32,439,800
負債の部	未払金	¥7,712,839
	未払法人税等	¥70,000
	未払消費税等	¥2,622,900
	前受金	¥10,918,327
	預り金	¥267,498
	仮受金	¥0
	流動負債合計	¥21,591,564
固定負債		¥0
固定負債合計		¥0
負債の部合計		¥21,591,564
正味財産の部	前期繰越正味財産	¥5,093,554
	当期正味財産増減額	¥5,754,682
正味財産合計		¥10,848,236
負債及び正味財産合計		¥32,439,800

令和6年度 損益計算書 収支決算 (対R6予算計画) (単位:円)

	R6収支予算	R6収支決算	差異		
収入	事業収入	¥84,576,750	¥91,049,253	¥6,472,503	
	会費収入	¥1,500,000	¥920,335	△¥579,665	
	助成金収入	¥0	¥750,000	¥750,000	
	寄付金収入	¥1,360,000	¥2,055,811	¥695,811	
	協賛金収入	¥3,000,000	¥200,000	△¥2,800,000	
	受取利息	0	¥3,110	¥3,110	
	雑収入	0	¥187,314	¥187,314	
	経常収入計	¥90,436,750	¥95,165,823	¥4,729,073	
	支出	【事】役員報酬	¥1,800,000	¥1,800,000	¥0
		【事】給料手当	¥3,000,000	¥3,000,000	¥0
【事】法定福利費		¥518,604	¥0	△¥518,604	
【事】福利厚生費		¥0	¥0	¥0	
【事】施設使用料		¥13,205,060	¥13,356,010	¥150,950	
【事】会議費		¥1,072,300	¥1,004,449	△¥67,851	
【事】旅費交通費		¥8,286,534	¥7,149,561	△¥1,136,973	
【事】水道光熱費		¥60,000	¥44,725	△¥15,275	
【事】通信運搬費		¥332,600	¥775,396	¥442,796	
【事】消耗品費		¥2,620,000	¥2,728,747	¥108,747	
【事】業務委託費		¥12,813,800	¥11,208,119	△¥1,605,681	
【事】謝金		¥0	¥0	¥0	
【事】支払手数料		¥1,947,500	¥951,574	△¥995,926	
【事】地代家賃		¥1,587,000	¥1,235,003	△¥351,997	
【事】賃借料		¥270,000	¥375,762	¥105,762	
【事】印刷製本費		¥1,824,000	¥1,711,553	△¥112,447	
【事】雑費		¥428,000	¥63,528	△¥364,472	
【事】車両費		¥1,050,000	¥1,400,770	¥350,770	
【事】広告宣伝費		¥0	¥45,031	¥45,031	
【事】商品製作費		¥1,340,400	¥4,578,208	¥3,237,808	
【事】外注費		¥15,185,760	¥14,864,955	△¥320,805	
【事】保険料		¥220,000	¥68,540	△¥151,460	
【事】諸会費		¥0	¥0	¥0	
【事】参加料		¥0	¥129,200	¥129,200	
【事】著作権料		¥0	¥1,293,558	¥1,293,558	
当期事業費計		¥67,561,558	¥67,784,689	¥223,131	
期首商品・製品棚卸高計		△¥106,517	¥106,517	¥0	
期末商品・製品棚卸高計		¥0	△¥52,211	△¥52,211	
事業費計		¥67,561,558	¥67,838,995	¥277,437	
管理費		【管】役員報酬	¥7,200,000	¥7,200,000	¥0
	【管】給料手当	¥3,240,000	¥3,240,000	¥0	
	【管】法定福利費	¥1,980,300	¥2,127,383	¥147,083	
	【管】福利厚生費	¥40,000	¥7,971	△¥32,029	
	【管】会議費	¥130,000	¥153,505	¥23,505	
	【管】旅費交通費	¥960,000	¥226,449	△¥733,551	
	【管】通信運搬費	¥750,420	¥682,780	△¥67,640	
	【管】消耗品費	¥200,000	¥60,010	△¥139,990	
	【管】業務委託費	¥3,430,000	¥2,616,923	△¥813,077	
	【管】支払手数料	¥0	¥1,031,059	¥1,031,059	
	【管】地代家賃	¥277,300	¥186,150	△¥91,150	
	【管】印刷製本費	¥20,000	¥36,107	¥16,107	
	【管】租税公課	¥575,000	¥2,635,920	¥2,060,920	
	【管】諸会費	¥20,000	¥20,000	¥0	
	【管】雑費	¥120,160	¥89,075	△¥31,085	
	【管】外注費	¥0	¥157,810	¥157,810	
	【管】車両費		¥16,271	¥16,271	
	【管】広告宣伝費	¥300,000	¥178,264	△¥121,736	
	【管】支払報酬料	¥925,000	¥836,000	△¥89,000	
	【管】研修費	¥200,000	¥0	△¥200,000	
【管】保険料	¥0	¥0	¥0		
管理費計	¥20,368,180	¥21,501,677	¥1,133,497		
経常費用計	¥87,929,738	¥89,340,672	¥1,410,934		
経常収支差額	¥2,507,012	¥5,825,151	¥3,318,139		
税引前当期純損益金額	¥2,507,012	¥5,825,151	¥3,318,139		
法人税、住民税及び事業税		¥70,469	¥70,469		
当期正味財産増減額	¥2,507,012	¥5,754,682	¥3,247,670		

# おわりに ～代表挨拶～

## 「個性が響きあう社会」へ、私たちが進む道

皆さま、いつもコモンビートの活動を支えてくださり、本当にありがとうございます。

コロナ禍により、長年続けてきた100人100日ミュージカル®プログラムが休止を余儀なくされ、仲間とともに舞台に立つことができない日々が続きました。しかし、決して諦めることなく、オンラインや小規模な形で活動を続け、多様な表現の形を模索してきました。そして、再開記念公演シリーズ(東京・大阪・福岡)での公演を再開し、そして2023-2024年度でプログラムを東京・名古屋・大阪・福岡で再開することができました。また、2024年度では4年ぶりに黒字の報告ができることとなり、財政的にも復調してきました。

また、各地で100人のキャストが集まり、100日間のプログラムを経て、舞台に立つ。そして、ウェルカムキャストやブラックスピリッツをはじめとする多くの卒業生がその舞台を応援し支えるという「人の循環」がしっかりと戻ってきました。各地ではじめての出会いやひさしぶりの再会が生まれている様子が見受けられてとても嬉しいです。

社会においても、2024年は、ダイバーシティ&インクルージョン(D&I)やウェルビーイングは、引き続き注目されるトピックでした。企業や社会全体が多様性を尊重し、包括的な環境を整えることの重要性を再認識し、具体的な取り組みが加速しました。しかし、現実には、多様性を尊重することの難しさを感じる場面も少なくありません。

そんな中で、コモンビートの活動は、「違いを楽しむ」ことを体験し、実感できる場として大きな意義を持っています。舞台の上では、年齢、職業、国籍、性的指向、障害の有無などを超え、100人のキャストがひとつの物語を紡ぎます。このプロセスこそが、社会の縮図です。「違いを力に」変え、共に支え合いながら、コモンビートが単なるエンターテインメントの場ではなく、「自分らしく生きること」「他者を受け入れること」を実践できるコミュニティであると、改めて実感しています。

そして、2025年度、私たちはさらに一歩踏み出します。これまでの活動の枠を超え、より多くの方が「違いを楽しみ、共に生きる喜び」を体感できる場をグローバルにローカルに創り出していきます。新たな舞台、新たな学び、新たな挑戦が、皆さんを待っています！

この活動を支えてくださる一人ひとりが、コモンビートの大切な仲間です。ともに、未来へ向かって、ワクワクする一歩を踏み出しましょう！

NPO 法人コモンビート  
理事長 安達亮



理事長 安達亮



特定非営利活動法人コモビート 第21期 年次報告書  
2025年3月発行

特定非営利活動法人コモビート  
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前6-23-4 桑野ビル2階  
TEL 03-4500-1785  
MAIL [info@commonbeat.org](mailto:info@commonbeat.org)  
HP <https://commonbeat.org/>

非売品 コモビート会員限定  
※無断複製、第三者へのインターネットによる公開・共有などを禁止します。

Copyright(C)2025COMMONBEAT,All rights reserved.